

○園の目標及び計画について

1 教育保育目標

◎生きる力の基礎「心情・意欲・態度」を育成する

教育・・・「健康」「人間関係」「言葉」「環境」「表現」各領域において様々な体験を積み重ね、相互に関連しながら具体的な活動を展開する。

保育・・・○十分に擁護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。

○健康・安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、健全な心身の基礎を育てる。

2 具体的な目標 及び 計画

| 目標   | 計画  |
|--|---|
| <p>1. 一人ひとりが快適、かつ健康安全に、こども園での生活を楽しみ、安心できる関係や環境の下で思いや考えを自分なりに表現する意欲を育て、身近な人と過ごす喜びや関わる力、豊かな感性や創造性を養っていくように努める。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の豊かな自然を取り入れた環境の下で、健康な心と体を育て、主体的な活動と体験を通して学び、考え、行動し、人と関わる力を育てていく。</li> <li>・園内や周辺の安心、安全な環境づくりや感染症に対しての衛生管理に努め、衛生委員会等で職員の連携を図る。</li> </ul>                                  |
| <p>2. 友達や保育者、地域の人々と親しみ、触れ合う中で社会生活における望ましい習慣や態度を身につける</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な体験を重ねる中で、身近な人や地域の方々との様々な関わり方に気づき、お互いの思いや考えを共有、共感したりする中で思いやりの心を育てていく。</li> <li>・保育ボランティアさんや地域の方との手紙を通じた間接的な交流を通し、親しみや感謝の気持ちを養う。</li> <li>・進んで挨拶をしようとする気持ちを育てる。</li> </ul> |
| <p>3. 地域の子育て支援の拠点としてのこども園の機能を活かし、子育ての喜びを共に感じ、保護者の自己決定を尊重して子どもの育ちを見守っていく関係を築いていく。</p>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業の『かんがるーはうす』や『NPプログラム』で地域の親子への支援を行い、地域への子育て通信の配布を通し相談の窓口となるように取り組む。</li> <li>・毎日の送迎や懇談会等で、保護者の方々の子育てに対する悩みや発達に関する悩み等を共有し、共に子育てをしている安心感や信頼感を持てるように努める。</li> </ul>      |
| <p>4. 小学校や他の関連施設との連携を図り、情報共有及び相互理解を図る。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連携会議や坂中校区ネットワーク会議に参加したり、学童クラブ（スマイルクラブ）を通じて坂小との連携を図っていく。</li> <li>・療育施設等の関連施設とのケース会議や情報交換に努める。</li> </ul>   |
| <p>5. 園内研修において、各クラス年間のテーマや目標を定め、年間計画を作成して1年を通して実践し、各クラス担任が主体的に取り組んでいく保育を園全体で共有し、実践方法や内容においての気づきを学び合っていく。</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスで決めた年間のテーマを意識した保育を主体的に継続的に行っていき、1年を通して行っていく保育の在り方を職員で学び合い、教育の質の向上に努める。</li> </ul>  |

## 2. 今後取り組むべき課題

- ・今後の感染対策の基本的対処方針に応じて、マスク着用の緩和や行事等での保護者参加の仕方等の対応を考えていき、安心して地域の方と共に過ごし、信頼関係を構築していけるよう連携を図っていく。
- ・毎年、アレルギー対応のミスが生じているので、マニュアルの再確認だけではなく職員間でのダブルチェックや行事等で慌たしい時期にこそゆとりが持てるような職員間での対応を行い、提供ミスがないように取り組む。
- ・子育て支援の拠点であり安心して子育てが出来る地域での支援をしていけるようにする。
- ・集団の中で成長していくことの大切さを保障し、たくさんの園児のいるこども園の良さを意識して活かしていけるような保育を考え、職員共に楽しんで保育していけるようにする。
- ・子どもに向ける言葉やまなざしや対応が適切であるか、一人一人の子どもに寄り添った保育をしているかを常に意識しあえる職員関係であるようにする。
- ・小学校の連携はコロナ禍から薄くなっているため、今後の対処方針により学校側とも連携を図りながら密になっていけるように取り組んでいく。また、療育施設とも今まで以上に連携がとれるように関りを深めたい。
- ・保護者との懇談会を再開できるように考える。今年度より取り入れている連絡ツールアプリのルクミーだけでなく、日々の会話や挨拶等で接していく時間を大事にし、アプリの発信の仕方も工夫していく。
- ・研修を通じ自己研鑽に努める。

## 5. 具体的な目標や計画の総合的評価

| 結果   | 表価   |
|--|--|
| <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に職員全員で協力し合い安心安全な環境づくりに頑張っていると感じる。人数の多い園だからこそ、今の状況を保てているのはすごいと感じた。</li> <li>・職員も楽しんで働けることが大事。休日はリフレッシュして、仕事とのメリハリができているか、日頃、休憩がとれているか。『働き方改革』を意識して取り組んでほしい。</li> <li>・行事で子どもたちの成長が見られているのはよい。まだまだ、課題もあるようなので、今後も引き続き意識して取り組んでほしい。</li> </ul> |

|   |                    |
|---|--------------------|
| A | 十分達成されている          |
| B | 達成されている            |
| C | 取り組まれているが成果が十分ではない |
| D | 取り組みが不十分である        |